

はなぶちやま
国道108号花瀧山バイパス
開通に先立ち『地元小学生の現地見学会』を開催
～思い出づくり(手形残し、タイムカプセル)も実施～

国道108号花瀧山バイパスが平成27年11月15日(日)に開通します。
開通に先立ち、地元の鬼首小学校と鳴子小学校の全校児童103名による花瀧山バイパス見学会を開催し、開通間近の現場を実体験していただきます。
また、開通前の現地見学会の記念として、『手形残し』や『タイムカプセル埋設』も行い、思い出づくりをしていただきます。

国道108号花瀧山バイパスは、平成20年度から、直轄権限代行事業として国土交通省で事業を進めています。

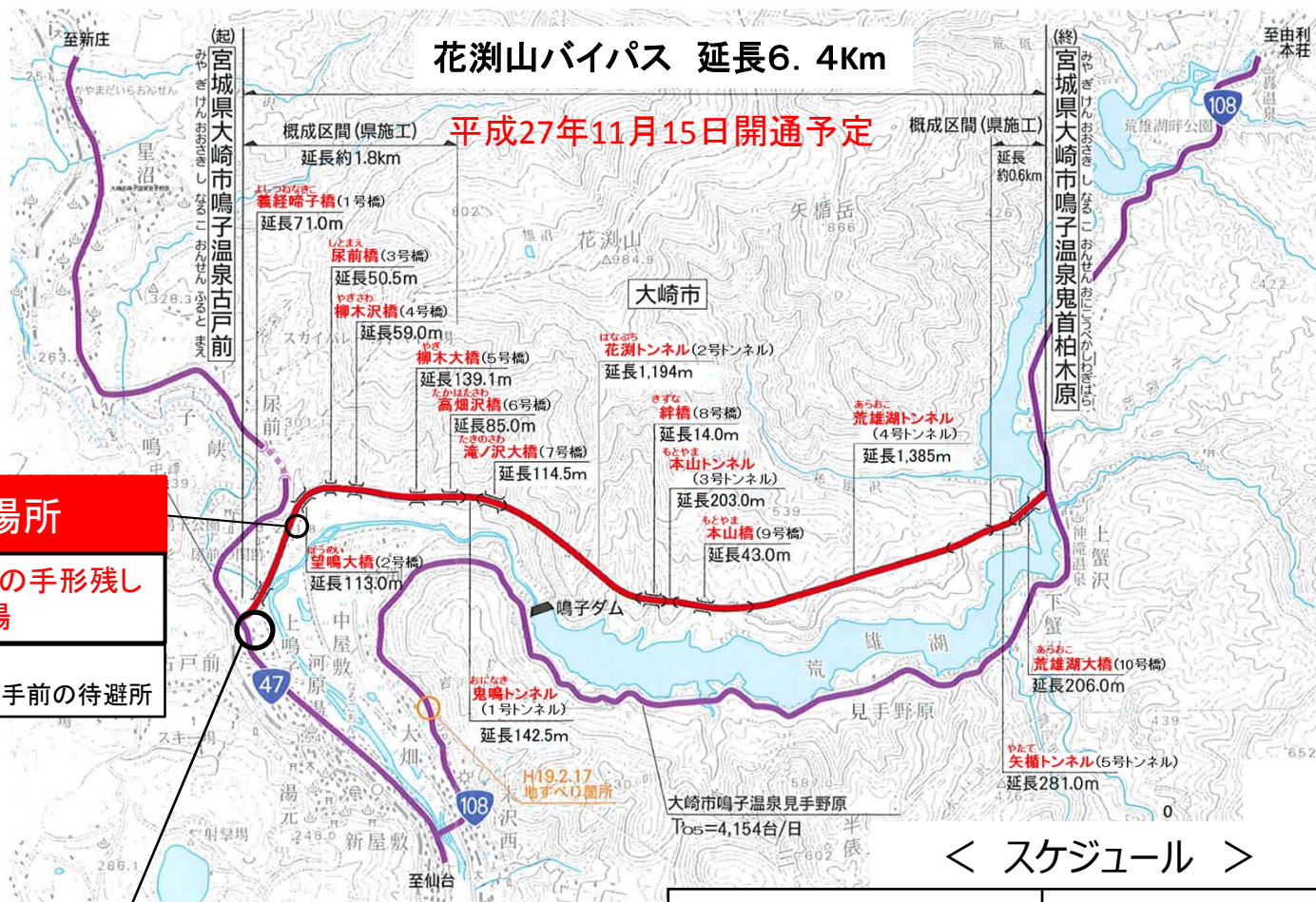
1. 開催日時 : 平成27年10月21日(水) 10時25分～12時00分
2. 場所 : 一般国道108号 はなぶちやま 花瀧山バイパス
(大崎市鳴子温泉古戸前ふるとまえ～同市鳴子温泉鬼首おにこうべかしわざいばら 柏木原間の延長6.4km)
3. 集合場所 : ぼうめい 望鳴大橋(2号橋)手前の待避所 ……別紙位置図を参照
4. 参加者 : 大崎市立鬼首小学校 全校児童20名
大崎市立鳴子小学校 全校児童83名 計103名
その他 随行引率者
5. 概要 : 花瀧山バイパス現地見学(バスの移動にて概要説明)
コンクリートへの手形残し
タイムカプセル埋設

- ※ ① 取材される際は、10時30分までに集合場所へお越し下さい。
- ※ ② 現地(花瀧山バイパス入口)では、交通誘導員の誘導に従い進入をお願いします。
- ※ ③ 10時25分からの現地見学については、工事中現場内のバス走行になるため、取材は「コンクリートへの手形残し」以降でお願いします。

<発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、古川記者クラブ>

問い合わせ先	
<p style="text-align: center;"><事業に関すること></p> <p>国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所 TEL 022-248-4131 (代)</p> <p>副所長 <small>たぐち かずひろ</small> 田口和弘 (内205) 調査第二課長 <small>たけだ てつひで</small> 武田哲英 (内451)</p>	<p style="text-align: center;"><イベント全般に関すること></p> <p>大崎市建設部 TEL 0229-23-8069</p> <p>都市計画課長 <small>かとう ひでのり</small> 加藤栄典 都市計画課 課長補佐 <small>おの ちはる</small> 小野寺晴紀</p>

位置図 及び スケジュール



集合場所
コンクリートへの手形残し会場
 ぼうめい
 望鳴大橋(2号橋)手前の待避所

タイムカプセル埋設 会場
 しとまえ
国道47号 尿前パーキング
 (大崎市鳴子温泉字古戸前)

< スケジュール >

10時25分～10時35分	現地見学 (バス移動) 鬼首小：終点側⇒手形会場 鳴子小：起点側⇒手形会場 (途中Uターン)
10時35分～11時05分	コンクリートへの手形残し
11時10分～11時20分	～ バス移動 ～
11時25分～12時00分	タイムカプセル埋設
12時00分	終了・解散

花洲山バイパス



【事業経緯】

- S63 宮城県事業着手
- H1 用地着手
- H20 国事業着手
(直轄権限代行に移行)

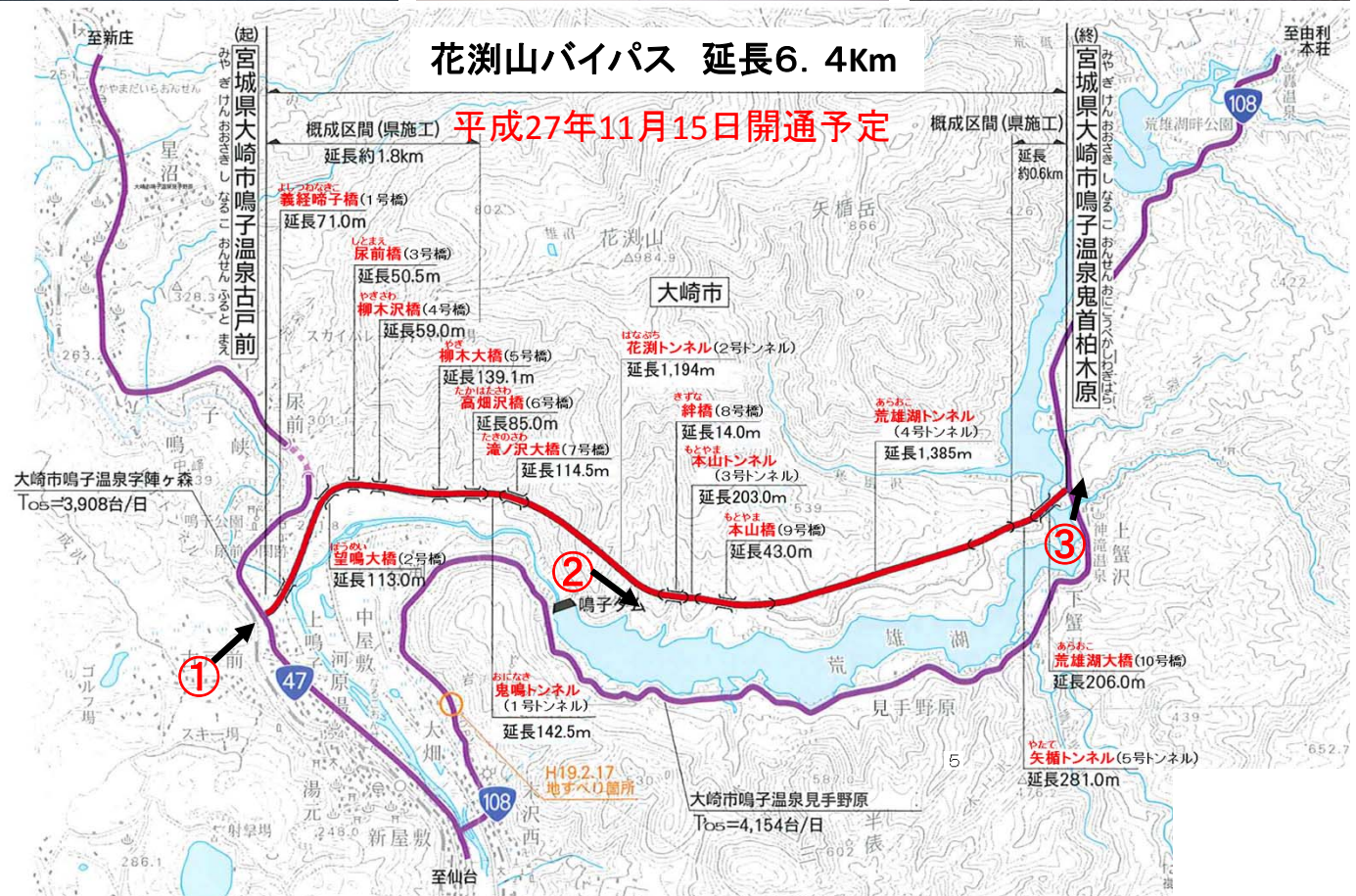
【進捗状況】(H27.3時点)

- 用地進捗率 100%
- 事業進捗率 約84%

【現在の状況】

- ・トンネル設備工事等
推進中
- ・舗装工事推進中

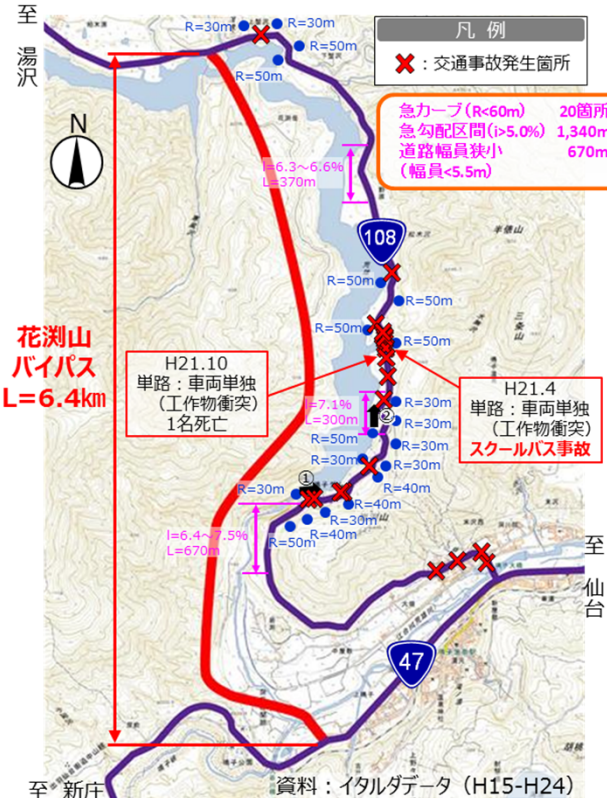
花洲山バイパス		
トンネル延長	3.2 km	50%
橋梁延長	0.9 km	14%
土工延長	2.3 km	36%
合計	6.4 km	100%



国道108号 花渚山バイパスの整備効果

効果①：走行性が向上、事故の危険性も軽減

- ◆ 並行する国道108号は、急カーブ・急勾配・幅員狭小区間が連続し、劣悪な道路環境（正面衝突事故が全体の半数を占める）。
- ◆ 花渚山バイパスでは、線形不良等が解消し、走行性・安全性が向上。

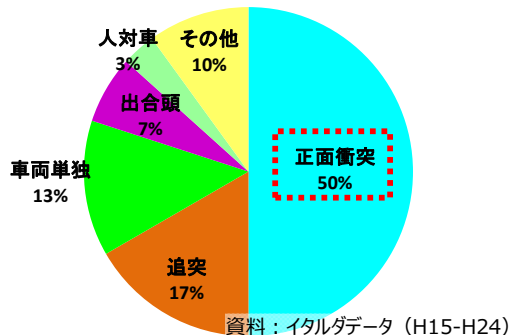


▲ ① 現道における線形不良箇所



▲ ② 現道における狭隘区間

▲ 並行現道区間の事故発生状況（過去10年）



▲ 並行現道区間の種別毎事故発生割合

◆ 物流業者の声

・道路が狭く、トラック同士のすれ違い時にサイドミラーが接触するなど、危険な箇所が多くあり、**ドライバーの精神的負担が大きい**。花渚山バイパスが開通すると、走行がスムーズになり**安心して国道108号を通らせることができる**。

（末広運輸サービス）

効果②：災害の危険性が低減

- ◆ 平成19年の地すべり災害では、47日間通行止めが市民生活に多大な影響。
- ◆ 花渚山バイパスの整備により、安全性向上及びリダンダンシーを確保。



▼ 地すべり発生時（H19.2.17）の時系列経緯

日時	経緯
2月17日	6:00頃崖崩れが発生（崩落土砂：約10m ³ 、被災延長：56m）。8:00より片側交互通行規制
2月17日	法面に亀裂等が確認され、16:00より緊急車両、路線バス等を除き全面通行止め
2月18日	大規模崩落の危険があり12:30より 全車両通行止め（鬼首地区420世帯が孤立）
2月19日	崩壊箇所前後に歩行者用通路と階段を設置し、シャトルバスによる輸送開始
2月20日	冬季閉鎖中の県道を除雪の上緊急迂回路として供用
4月3日	仮設道路を設置し、片側交互通行で供用開始
4月5日	仮設道路による 全面供用開始



H19.2.17地すべり災害

▲ 並行現道区間の災害発生箇所

鬼首地区では、

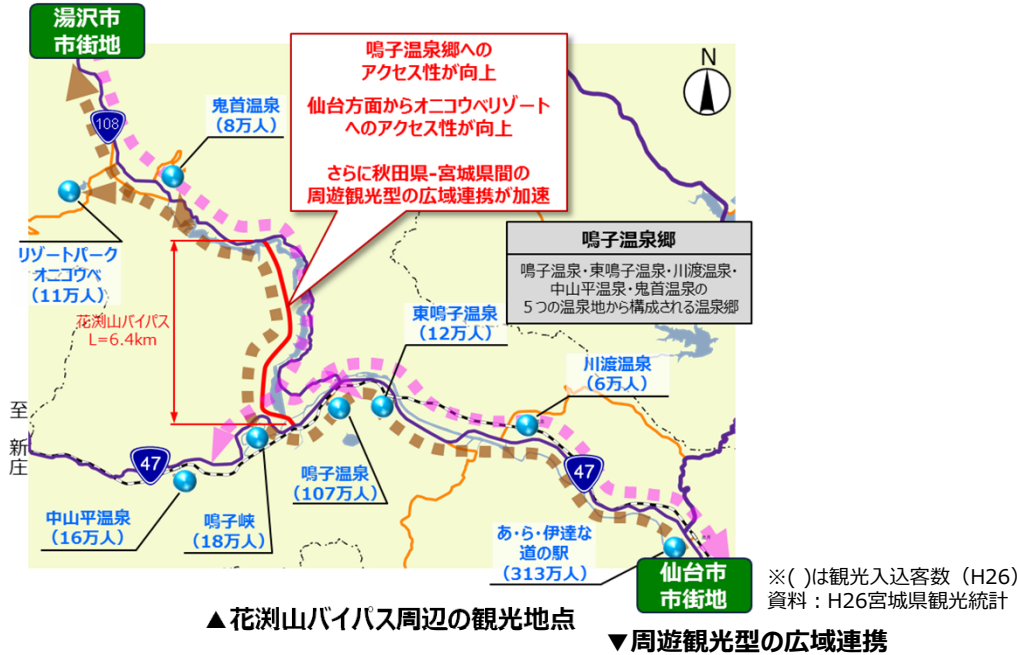
- ・通行止め箇所前後に仮設階段を急斜面に設置し、シャトルバスを利用して通勤、買い物や病院にいった（乗換えや急斜面の昇り降りの負担、所要時間の大幅な増加）
- ・ホテル、スキー場は営業休止を余儀なくされる
- ・鳴子方面に帰宅するのに、湯沢、新庄を経由しなければならず、約6時間を要した
- ・商品の仕入れや買出しに車を使わなければならない場合、大きな迂回で片道4時間以上を要した

▲ H19.2.17地すべり災害時の鬼首地区への影響

国道108号 花渚山バイパスの整備効果

効果③：観光客の利便性が向上

- ◆ 鳴子周辺の観光活性化には、周遊型観光を確立する必要がある。
- ◆ 花渚山バイパスの整備により、各観光地点及び都市間の広域的なアクセス性の向上による観光振興に期待。



◆ 観光関係者の声

・花渚山バイパス開通により、国道108号を使った**秋田県方面への観光ルートを開拓**していきたい。また、イベントや祭り等を通じて他の観光地と連携を図っていく予定である。
(鳴子温泉郷観光協会)

効果④：救急搬送の確実性に寄与

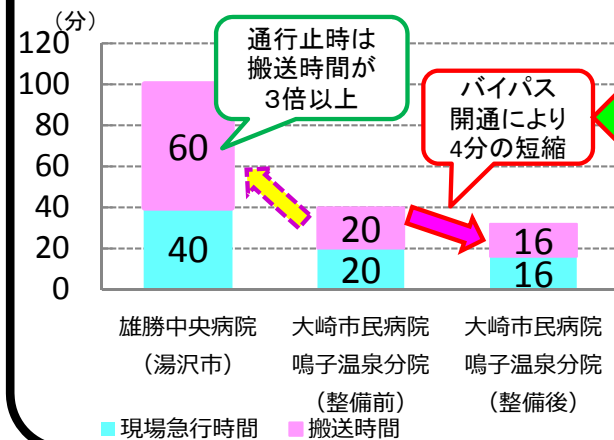
- ◆ 鬼首地区では現道区間が通行止めになると救急搬送に多大な影響が発生(鬼首からの救急搬送は年間約50件)。
- ◆ 花渚山バイパス整備により、4分の時間短縮が図られる他、救急搬送の確実性、患者、運転手への負担軽減に寄与。



◆ 鳴子消防署の声

・現道区間が通行止めの場合、**秋田県との応援協定**により秋田側から救急車が出動するが、救急要請から病院へ搬送するまでの時間が大幅に増加してしまう。

・バイパスの開通で、通行の信頼性が向上するとともに、カーブと起伏の多い鳴子ダム周辺を通行しなくなることにより、**搬送中の患者への負担並びに機関員(運転手)への負担の軽減**が図られる。
(鳴子消防署)



4分の時間短縮効果だけでなく、急カーブ・急勾配、幅員狭小区間がなくなることで、ストップ＆ゴーが減り、走行が安定することで、搬送患者・運転手への負担が大幅に軽減

資料：H22道路交通センサス

▲ 鬼首地区から救急病院までの搬送時間